



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2019年1-3月号

Vol.45

支援者の皆様へ

支援者の皆様、こんにちは。いつもお祈りと尊いご支援を感謝いたします。

新年が始まって3ヶ月が経とうとしていますが、私（俊）も妻（純子）も、1歳半になった娘のかなえも健康が守られ、主から託された働きに携われる恵みを噛みしめています。

神の前に仕えられる喜びが、日ごとにわき上がってくるのには理由があります。

アンパンマンの作者で漫画化のやなせたかしさんは、会社を辞めて専業漫画化になってからの20年はまったく「売れず」、作品が世に知られるようになったのは40代後半でした。それでもやなせさんが「焦らなかった」のは、彼が自分の人生を「お菓子についているおまけ」のように感じていたからだ、と回想しています（『アンパンマンの遺書』岩波書店）。それは、やなせさんが戦争に行ったからです。「戦友たちは皆死んだ」と彼は言います。「でも、僕は死ななかった。本当は死んでいたはずなのに。だから戦争以降の人生は天が恵んでくれた『おまけ』みたいなものだ」というわけです。

やなせさんと同じ感覚が私にもあります。2年間の闘病生活を経た後の私の人生は「おまけ」であり、ゲームで言う「ボーナスステージ」だと。病気以前の私は何かの働きや仕事をするとき「これは上手くいくだろうか？成功するだろうか？」と考えていましたが、今はそうは思いません。そもそも仕事が出来



来ていなかったかもしれないのだから「命が与えられていて、この働き出来る」ということ自体が結果にかかわらず「それ自体で100%の成功」だと、本当に腹の底から感じるのです。

今年もどんなことをさせていただけるか分かりませんが、働きをさせていただける喜びを味わいながら、主の前に人生を捧げ続けていきたいと願います。これからも皆様の応援をよろしく願います。



11年越しのインドへ...

4月9～29日、20日間の予定でインドへ渡航します。

愛知県豊橋市で市役所の職員だった私が神に召し出され、開発援助団体を通して4ヶ月間、インドのいくつかの現場で研修を経験させていただいたのは11年前の2008年のことでした（写真参照）。

この11年間、インドでのあのときの経験が、私が宣教の働きをする上での「土台」となっています。30以上の言語、1000万の神々、「人口2億人を超える州」がある、「インドという多元世界的な超大国」で、「西欧世界で形成されたキリスト教」が土着化・文脈化してきたダイナミズムは、その後の私の思考の幅や奥行きを大きく広げてくれました。「福音宣教の包括性」においてもその多様性と独創性に大いに触発されましたし、ヒンズー教的な権力構造が未だ根強いなか、少数派であるキリスト者たちが大きな犠牲を払いながら様々な地域・職域・社会階層で「献身」し、神にすべてを捧げて苦闘しながら仕える姿に、靈感と励ましを受け続けています。今回は11年前にお会いした何人かの「旧友」に再会します。彼らの働きが11年間、どのように用いられ、発展してきたのかという物語を聞かせていただくとともに、東日本大震災を経た日本で、私たち（FVI）がどのように主に導かれ、宣教の働きに参加してきたかという物語を分かち合い、互いに励まし合う時になることを期待しています。

使徒パウロは遠隔地の兄弟姉妹たちに、「**神が許されるのならどうかしてそこに行って、あなたたちに会って共に励まし合いたい**」とその手紙に書き記していますが、今の私もパウロの気持ちがよく分かります。今回の訪問が実り豊かなものとなるよう、行き帰りの道のりと滞在の安全が守られるよう、お祈り下さいますと幸いです。



【告知】ラジオ動画の配信が始まりました！

2017年から無料メルマガ「陣内俊の読むラジオ」を毎週火曜日に配信しており、ご好評いただいています。このメルマガのひとつの目的は「森羅万象を語ることで聖書的世界観を伝える」ことであり、広義の宣教（預言的働き）と位置づけてきました。「ラジオを聞くように読むことが出来るメルマガ」を目指してきましたが、今回「ラジオ」としての動画配信を開始しました。是非、チャンネル登録・宣伝・応援をよろしく願います！ご視聴は YouTube のサイトまたはアプリの、検索バーに「読むラジオ」と入力してください。



メッセージ要約「安息の神」

「安息の神」 主題聖書箇所：出エジプト記 20 章 8～11 節

2019 年 2 月 24 日、ICBC（蒲郡市）にて礼拝メッセージ

2013～2015 年の 2 年間、「燃え尽き症候群による鬱状態」のため療養したとき、下園壮太さんの『鬱からの完全脱出』という本にあった「鬱の本質は疲労である。疲労であるから休めば回復する。ところがその「休むこと」が実際はとても難しい作業なのだ。」という言葉を実感しました。

旅行会社 Expedia の調査によると日本人の有給休暇取得率は調査対象国で最も低く、しかも全体の 63%が「有給休暇を取得することに罪責感がある」と回答しており世界最高です。また、別の調査によれば、「睡眠不足による経済損失」は世界でもっとも高く（GDP の 3.1%）、軍事費や教育費の 1.5 倍の金額が毎年、睡眠不足によって失われている計算になります。勤勉が美德と教え込まれた典型的な日本人にとって「休むこと」は簡単ではありません。しかし、私たちに「週に一度休むように」と命じておられる神に従うためには、「休む技術」を体得する必要があります。

キリスト教徒にとっての「安息日」とは、「日曜日に礼拝に参加する」ということにとどまりません。イエスは教条主義的な宗教家たちに向かって「安息日は人のために設けられたのです。人が安息日のために造られたわけではありません。（マルコ 2：27）」と、安息日の根源的な意味を語られました。歴史学者のトマス・ケイヒルは、「ユダヤ人以前の古代社会には「休む日」はなかった。宇宙を創造し休息した神は人間にも同じ事を命じ、週一度の祈りと勉強と楽しみ（再創造）へ人々をいざなう。（中略）七日に一度のこの区切りなしで生きている人間は、その分だけ空虚で内実に欠けている。」と語っています（『ユダヤ人の贈り物』）。

では私たちは具体的にどう休めば良いのでしょうか？日系カナダ人牧師のケン・シゲマツ師は著書「賢者の生活リズム」のなかで、安息日（日曜日は牧師にとって仕事なので月曜日）に、趣味のマウンテンバイクに乗ることは神の御心に適う過ごし方かどうかを霊的メンターのダラス・ウィラード師に相談しています。ウィラード師はシゲマツ師に「それはレースに出場するためか？それとも健康を増進するためか？」と確認し、シゲマツ師が「そのどちらでもないのです。私は純粹に楽しいからマウンテンバイクに乗っているのです。」と答えると、ウィラード師は言います、「それならばよろしい」。



（写真）ある「安息日」の過ごし方。

あらゆる調査研究が「休むことによるメリット」を示しています。経営者の吉越浩一郎氏は毎日 8 時間寝ることは仕事の一部であり、「十分寝ない（休まない）社員は怠惰だ」とすら言っています（『気力より体力』）。しかしながら、聖書的な「安息」の意味はただ体力の回復や健康のためだけではありません。それらは「実用主義的な理由」ですが、たとえそれらがまったくなくても私たちは休むべきです。なぜなら、安息日はただ回復の為ではなく、それは神のものであり（マルコ 2：28）、「生命の日」だからです（アブラハム・ヘッシェル「シャバット——安息日の現代的意味」）。休むことは働くことや祈ることと同じぐらい「霊的な行為」です。ヘブル書 4 章 10 節は「神の安息に入る人は、神がご自分のわざを休まれたように、自分のわざを休むのです。」と語っています。神を模範とする私たちは、「休む神」に倣って休むのです。

祈りの課題

- ◇俊、純子、かなえの健康が支えられ、喜んで神に奉仕し続けられるように。
- ◇インド渡航の安全・旅程が守られ、事故・トラブルなどなく、良い出会いに恵まれるように。世界で神がなさっている働きを学び、日本の教会に還元していけるように。
- ◇FVI、および「陣内俊を支える会」の経済的必要が支えられ、働きが継続していけるように。
- ◇YouTube 動画配信、メルマガ、各地でのセミナーを通し「預言的働き」が用いられ広がっていくように。

2019年3月以降の予定

月 日	内 容	場所、補足
3月22～25日	よにでしセミナー2019 打ち合わせ	札幌
4月9～29日	パートナーの訪問・働きの視察	インド（デリーとバラナシ）
6月25～29日	Global Workplace Forum（ローザンヌ運動主催）	マニラ（フィリピン）
7月9～10日	被災地支援活動（もーもプロジェクト他）	福島県
9月29日	包括的宣教セミナー	日本同盟教団多摩教会（府中市）
10月28日	FVI 総会	本郷台キリスト教会（横浜市）
秋頃	よにでしセミナー第三期	未定（関西が候補地）
随時継続的に	包括宣教の各種活動	国内各地

* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先

陣内への Email shun@karashi.net

無料メルマガ、YouTube 放送、ブログなど→「陣内俊」で検索

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- * 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- * 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- * Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。